

課題設定による先導的人文・社会科学研究推進事業（グローバル展開プログラム）  
課題設定型研究テーマ 研究概要

課題（研究領域）

日本の国際広報と国際発信に関する実証研究

研究テーマ名

政治と外交の対外情報発信に関する国際共同研究：日本と他国の比較、実験と内容分析  
によるアプローチ

責任機関

神戸大学

研究実施期間

平成26年2月～平成29年1月

研究プロジェクトチームの体制

**研究代表者**

多湖 淳（神戸大学・大学院法学研究科・准教授）

**グループリーダー（内容分析班）**

稲増 一憲（関西学院大学・社会学部・専任講師）

**グループリーダー（実験班）**

小浜 祥子（北海道大学・大学院法学研究科・准教授）

**分担者**

増島 建（神戸大学・大学院法学研究科・教授）

栗栖 薫子（神戸大学・大学院法学研究科・教授）

大西 裕（神戸大学・大学院法学研究科・教授）

湯川 拓（大阪大学・大学院国際公共政策研究科・准教授）

スティーブン・ピッカリング（神戸大学・大学院法学研究科・特命講師）

**配分（予定）額**

（単位：円）

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
10,000,000	20,000,000	17,800,000	8,400,000

※平成26年度・平成27年度・28年度については予定額

**研究目的の概要**

本プロジェクトの目的は、内容分析や実験手法を用いて、①日本や他の主要国の対外的な政治・外交広報のあり方とその効果に関する実証研究を推進することにある。実証作業に際しては、②海外の研究者と密接に協働することで、複数の国際共同研究論文を生み出す。③最終目標は、若手を中心にした日本の社会科学研究者が主体的に海外の研究者と連携して新しい研究課題に取り組むための「世界水準知的生産プラットフォーム」を構築することにおかれる。

**研究計画の概要**

理論班、内容分析班、実験班が与えられた任務をそれぞれ独自に果たしつつ、同時に密接に連携し、かつ海外研究者との協働を通じて、対外情報発信にかかわる実証研究を進める。その際、対外情報発信のシステムティックな国際比較、人間の安全保障やODAといった個別テーマに関する情報発信のデータベースの構築と分析、サーベイ実験を通じた国民の情報受容プロセスの解明を重視する。